

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月12日

上場会社名 東京コスモス電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6772 URL <http://www.tocos-j.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 岩崎 美樹
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 飯嶋 正明 (TEL) 046-253-2111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,724	△9.5	43	△81.9	△54	—	△34	—
2019年3月期第2四半期	5,221	4.3	238	41.2	307	199.2	168	499.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △99百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 190百万円(148.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△22.09	—
2019年3月期第2四半期	107.48	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,540	3,904	33.8
2019年3月期	12,101	4,066	33.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,904百万円 2019年3月期 4,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,450	△7.7	80	△80.9	△50	—	△40	—	△25.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	1,581,250株	2019年3月期	1,581,250株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	31,088株	2019年3月期	31,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	1,550,232株	2019年3月期2Q	1,566,593株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたとして仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 事業全体及びセグメント情報に記載された区分ごとの状況

a. 事業全体の状況

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国は個人消費が底堅く推移したものの製造業の景況感に陰りが見られ、欧州や新興国においても米中経済摩擦や地政学リスクの影響で減速感が拡がり、特に中国は製造業を中心に停滞感が強まりました。日本経済は、個人消費が底堅く推移したものの、グローバル経済の減速を背景に製造業で輸出や設備投資が減少するなどの影響が見られました。当社グループの属する電子部品業界は、前期まで高機能化が進む通信機器や車載向け電子部品等で好調を維持しましたが、今期は中国における設備投資減やグローバル経済の減速の影響で全体的に需要が減少しました。

このような情勢下、当社グループは新たに3車載用電装部品生産ラインを導入し生産力を増強するとともに、営業活動を強化してまいりました。この結果、第2四半期の売上高は第1四半期に比べ9.2%増加しました。しかしながら第2四半期累計期間では、中国经济減速の影響で可変抵抗器が大幅減収となったことに加え、車載用電装部品についても既存の接触式角度センサや車載用フィルムヒーターが減少したことから売上高は4,724百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

利益面では、第2四半期は増収効果で経常利益・純利益とも黒字を確保しましたが第1四半期の損失をカバーするに至らず、第2四半期累計期間では、新生産ライン立上げや生産拠点再編にかかる諸費用の発生に加え、稼働率の低下による生産工場の損益の悪化から、営業利益は43百万円（前年同四半期比81.9%減）となりました。営業外損益で為替差損62百万円及び移設関連費用29百万円を計上したため経常損失は54百万円（前年同四半期は307百万円の利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は34百万円（前年同四半期は168百万円の利益）となりました。

b. セグメント情報に記載された区分ごとの状況

(イ) 可変抵抗器

設備投資関連や電源向けの需要が大きく減少し、特に中国向け等輸出を中心に売上が伸びなかったため、売上高は1,609百万円（前年同四半期比16.9%減）となりました。減収に伴いセグメント利益（営業利益）は234百万円（前年同四半期比25.8%減）となりました。

(ロ) 車載用電装部品

新製品の非接触角度センサ等が増収となりましたが、減価償却費見合い売上の減少、原材料の見直しによる売上単価引下げ等により車載用フィルムヒーターが減少したこと、既存の接触式角度センサが大幅減となったこと等から売上高は3,013百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。セグメント利益は、減収の影響で97百万円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

(ハ) その他

その他部門の売上は、大型設備投資の一巡から設備販売が減少し100百万円（前年同四半期比47.0%減）となりました。セグメント利益は減収の影響で17百万円（前年同四半期比56.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ560百万円減少し11,540百万円となりました。主な要因は、設備投資に伴い機械装置及び運搬具は増加しましたが、設備代金支払いによる現金及び預金の減少や流動資産その他に含まれる未収入金が減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ398百万円減少し7,636百万円となりました。主な要因は、未払法人税等と流動負債その他に含まれる未払費用・未払消費税等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ162百万円減少し3,904百万円となりました。主な要因は、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、並びに為替換算調整勘定のマイナスによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては2019年10月28日に修正予想を公表しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,984,768	1,557,090
受取手形及び売掛金	1,865,391	2,040,740
電子記録債権	721,474	603,602
商品及び製品	461,063	447,239
仕掛品	395,937	384,405
原材料及び貯蔵品	697,271	650,859
その他	306,806	98,477
貸倒引当金	△6,668	△7,531
流動資産合計	6,426,045	5,774,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,347,907	1,312,911
機械装置及び運搬具（純額）	909,155	1,065,471
土地	1,715,871	1,715,871
その他（純額）	762,749	688,061
有形固定資産合計	4,735,682	4,782,316
無形固定資産	14,066	16,562
投資その他の資産	925,689	966,924
固定資産合計	5,675,439	5,765,802
資産合計	12,101,484	11,540,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	702,590	709,604
電子記録債務	522,578	491,681
短期借入金	1,417,130	1,411,000
1年内返済予定の長期借入金	784,263	803,967
未払法人税等	165,746	33,392
賞与引当金	155,219	174,302
その他	753,801	443,202
流動負債合計	4,501,330	4,067,151
固定負債		
長期借入金	1,696,130	1,744,979
役員退職慰労引当金	27,070	22,624
退職給付に係る負債	1,179,783	1,194,081
再評価に係る繰延税金負債	314,794	314,794
その他	316,210	292,921
固定負債合計	3,533,989	3,569,401
負債合計	8,035,320	7,636,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
利益剰余金	2,189,118	2,092,870
自己株式	△46,589	△46,683
株主資本合計	3,419,529	3,323,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,548	44,461
土地再評価差額金	734,519	734,519
為替換算調整勘定	△71,868	△146,038
退職給付に係る調整累計額	△58,563	△51,995
その他の包括利益累計額合計	646,635	580,947
純資産合計	4,066,164	3,904,134
負債純資産合計	12,101,484	11,540,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,221,975	4,724,857
売上原価	4,215,227	3,917,529
売上総利益	1,006,748	807,327
販売費及び一般管理費	768,368	764,275
営業利益	238,379	43,052
営業外収益		
受取利息	714	1,551
受取配当金	3,989	4,090
為替差益	82,011	—
その他	15,568	26,989
営業外収益合計	102,282	32,630
営業外費用		
支払利息	14,674	12,746
為替差損	—	62,704
移設関連費用	—	29,982
その他	18,198	24,822
営業外費用合計	32,872	130,255
経常利益又は経常損失(△)	307,790	△54,572
特別利益		
固定資産売却益	3,070	504
投資有価証券売却益	—	70
特別利益合計	3,070	575
特別損失		
固定資産除売却損	2,395	99
投資有価証券評価損	—	2,970
特別損失合計	2,395	3,069
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	308,464	△57,066
法人税、住民税及び事業税	71,743	28,830
法人税等調整額	68,344	△51,658
法人税等合計	140,088	△22,828
四半期純利益又は四半期純損失(△)	168,376	△34,237
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	168,376	△34,237

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	168,376	△34,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,066	1,913
為替換算調整勘定	15,832	△74,169
退職給付に係る調整額	5,430	6,567
その他の包括利益合計	22,329	△65,688
四半期包括利益	190,705	△99,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,705	△99,926

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,937,929	3,093,514	5,031,444	190,531	5,221,975	—	5,221,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,937,929	3,093,514	5,031,444	190,531	5,221,975	—	5,221,975
セグメント利益	315,775	188,250	504,025	39,358	543,384	△305,005	238,379

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用305,005千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,609,910	3,013,952	4,623,862	100,994	4,724,857	—	4,724,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,609,910	3,013,952	4,623,862	100,994	4,724,857	—	4,724,857
セグメント利益	234,164	97,276	331,440	17,286	348,727	△305,675	43,052

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用305,675千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。